



2026年8月6日

各 位

会 社 名 SOLIZE Holdings株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 宮藤 康聡
(コード：5871、スタンダード市場)
問合せ先責任者 上席執行役員 中島 宏史
(TEL. 03-5214-1919)

中間期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期中間期（2026年1月1日～2026年6月30日）の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026年12月期中間期連結業績予想数値と実績値との差異（2026年1月1日～2026年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する中間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	14,600	△434	△434	△280	△52.25
今 回 実 績 値 （ B ）	14,274	82	71	30	5.60
増 減 額 （ B － A ）	△325	516	505	310	－
増 減 率 （ ％ ）	△2.2	－	－	－	－
（ ご 参 考 ） 前 期 実 績 （2025年12月期中間期）	12,226	△431	△427	△252	△47.92

2. 差異の理由

当中間連結会計期間において、国内のエンジニアリングサービス及び変革コンサルティングサービス等の稼働状況が改善し、インドにおけるソフトウェアライセンス販売の拡大等により収益性が向上しましたが、3Dプリンター及び試作品の販売や北米におけるエンジニアリングサービス、国内ソフトウェアエンジニアリングサービス等の収益が下回った結果、2026年2月13日に公表いたしました業績予想から、売上高は325百万円下回ることとなりました。一方、適切なコスト管理を行ったことにより、営業利益は516百万円、経常利益は505百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は310百万円、それぞれ前回予想を上回りました。

3. 2026年12月期の通期連結業績予想について

当中間連結会計期間において、営業利益以下の段階利益は前回予想を上回ることができましたが、足元の当社グループを取り巻く経済環境は、中東情勢を巡る地政学リスクが継続していることに加え、主要顧客の属する自動車産業では、国内外の主要OEMにおけるEV戦略の見直し、及び開発コストの抑制の動きが強まることとなりました。不確実性が高い状況となりましたが、現時点においては、前回公表した通期連結業績予想に沿って推移するものと判断しており、予想値に変更はございません。今後の動向に応じて業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

以 上